

大学施設の紹介

新型コロナウイルス感染症対策のため、利用時間の変更／制限等の対応を行う場合があります。
最新情報は本学ウェブサイトにてご確認ください。

中嶋記念図書館

本学の図書館は、24時間365日、眠ることなく学生たちを受け入れています。

【利用時間】

平日 8:30～22:00
土曜日 10:00～18:00
日曜日 10:00～22:00



言語異文化学修センター(LDIC)

言語異文化学修センターは、外国語の自律学修を支援する施設です。英語をはじめ多数の外国語に関する豊富な教材と充実した設備を整えています。

【利用時間】

平日 9:00～22:00
土曜日 10:00～18:00
日曜日 10:00～22:00



各種申込方法

本学教職員の派遣や学生との交流に関するご相談・お問合せは、研究・地域連携支援課で受け付けています。

国際教養大学 研究・地域連携支援課 地域連携チーム

Tel. 018-886-5904(月～金 9:00～17:00) Fax.018-886-5910

※土・日曜日、国民の祝日、8月13日から15日、12月29日から翌年1月3日及び本学の開学記念日(4月8日)は事務を取り扱いません。

▶学生との交流

▶講師派遣依頼



発行 2021年6月

発行者 公立大学法人国際教養大学

〒010-1292 秋田県秋田市雄和椿川字奥楯岱

Tel. 018-886-5900 / Fax. 018-886-5910

URL: <https://web.aiu.ac.jp/>

公立大学法人
国際教養大学

2020年度(令和2年度)
英語教育・国際交流・
地域連携活動

2020年4月～2021年3月





はじめに

2004年4月の開学以来、国際教養大学では教育、研究、国際貢献・地域貢献活動を3つの大学の責務として位置づけて参りました。

これまで、図書館、言語異文化学修センター(LDIC)、カフェテリア、カレッジカフェ、Suda Hall(多目的ホール)などの学内施設の一般開放はもちろんのこと、本学が有する教育資源を活用してイングリッシュビレッジをはじめとする教育機会の提供、地域活性化、異文化交流の促進、研修の場の提供等々、さまざまな取組を通して秋田県のみならず各地域へ新しい風を吹き込んできたと自負しております。

現代の大学には、教育および研究機能の他、社会貢献の機能が求められています。本学は秋田県に在る公立大学として市町村との提携によるお力添えをいただき、積極的な交流活動を通して、県境・国境、世代を超えた人々とのつながりを育み、同時に、県内出身学生の郷土愛、県外出身学生の秋田に対する新たな見識、そして世界各国からの留学生の異文化理解をより一層深めることに努めてきました。

また、本年度からは、これまで推し進めてきた「国際教養教育」を更に一歩先に進め、「応用国際教養教育(AILA: Applied International Liberal Arts)」という新たな教育手法を打ち出し、本学の全人教育をさらに進化させて参ります。

本学では「秋田から世界へ」「世界から秋田へ」という流れを実現することに努力しております。

年間200回を超える規模で実施してきた、本学の日本人学生、海外からの留学生と県内の小中高等学校等との対面交流事業は、昨年度、新型コロナウイルス感染拡大の影響により叶いませんでしたが、オンラインシステムを活用した交流活動プログラムの開発に取り組んだ結果、県内のみならず県外の学校等との交流の実現など、新たな可能性

を見出すこともできました。

このように、試行錯誤を繰り返しながら歩んだ2020年度の本学の地域貢献活動の状況を本誌にとりまとめましたので御一読いただければ幸いです。

困難な状況が続く中ではありますが、引き続き、地域に開かれた大学、地域と共に歩む大学として、地域のみなさまとの交流活動を推し進めていきたいと考えています。みなさまの温かい御理解と一層の御支援のほど、よろしくお願いいたします。

2021年4月

公立大学法人 国際教養大学

理事長・学長 鈴木 典比古



はじめに	1
英語教育	3
ティーチャーズセミナー	3
英語指導法セミナー&ワークショップ(オンライン)	3
イングリッシュビレッジ・オンライン	4
異文化理解教育プログラム(オンライン)	4
国際交流	5
オンライン交流について	5
AIU Science LAB(英語で理科実験)	6
日本語教育との連携	6
地域連携	7
アジア地域研究連携機構(IASRC)	7
・県内企業課題解決型インターンシップ	7
・秋田ふるさと村民俗芸能アーカイブス活用事業	7
・JR東日本寄附講座	7
・世界の中の秋田蘭画	8
・大館市の観光施策に関するアドバイザリー	8
・トヨタカローラ秋田株式会社とのカーシェアリングに関する共同実証研究	8
オンライン公開講座	9
AIUリサーチ・ウィーク(オンライン)	9
高大連携授業「国際教養学への招待」(オンライン)	9
地域の日本語教育支援	10
学生による地域連携活動の紹介	10

●各ページに掲載している本学教員紹介は、2021年4月1日時点の情報です。
(氏名・所属・職位の順に掲載しております。)
●各ページに掲載しているQRコードは本学ウェブサイトの関連ページにリンクしています。

英語教育

国際教養大学では2004年の開学以来、すべての授業を英語で行うなど、「英語で英語を学ぶ」取組において独自のノウハウを有しています。そのノウハウを小中高等学校の教育現場等に還元できるよう取り組んでいます。



イングリッシュビレッジ

ティーチャーズセミナー

TOP GLOBAL UNIVERSITY JAPAN スーパーグローバル大学創成支援事業



「英語を英語で教える」ことの意味やその手法、実践的教授法、クラスマネジメントなどについて秋田県教育委員会が実施したワークショップに、本学教員を派遣しました。



対象 県内の小学校教員
開催実績 小学校外国語活動教員研修事業 40名



町田 智久
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科 英語教育実践領域／教授

コロナ禍で制限もある中、これまでの研修での知見や経験を生かしながら、参加する先生方の実践的な指導スキルの伸長を目指します。また、先生方が日々の英語の指導に自信が持てるようにサポートします。

英語指導法セミナー&ワークショップ(オンライン)

米国大使館共催



新しい9つのコースを作成し、オンラインにて日本全国の英語教員の皆さんに提供する事が出来ました。



対象 県内外の小中高等学校の英語教員
開催実績

批判的思考の指導法	61名
言語教師のためのアクティブ・ラーニングx2回	123名
英語教師のための言語スキル向上	84名
TOEFL iBT®の指導法	58名
第2言語習得	63名
英語指導法スキルアップ集中セミナー	25名
流暢さ向上指導のための視覚素材の使用	60名
教育哲学	37名
英語教師のための言語スキル向上	43名
批判的思考の指導法	61名



クリストファー・カール・ヘイル (Christopher Carl HALE)
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科 英語教育実践領域／准教授

沢山のご参加により、充実したオンラインコミュニティとなりました。オンライン形式となっても、全国のやる気のある英語教員の皆様にコースを提供し続けられることを嬉しく思います。

イングリッシュビレッジ・オンライン

TOP GLOBAL UNIVERSITY JAPAN スーパーグローバル大学創成支援事業

これまで国際教養大学のキャンパスで開催してきた2泊3日の中高生のための英語研修プログラム「イングリッシュビレッジ」を別の形で中高生に英語コミュニケーションの機会を提供したいというスタッフ学生の思いから、オンライン・アクティビティとして再編し「イングリッシュビレッジ・オンライン」を実施しました。本学教員によるトレーニングを受けた学部生や大学院生が運営するプログラムに全国の中高生が自宅にいなから参加することができます。



対象 県内外の中高生
開催実績 16回、延517名



内田 浩樹
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科 専攻長
英語教育実践領域代表／教授

中高生が実践的な英語を学び、本学の学生が教師としてのスキルを学ぶという、双方にメリットの大きい事業モデルを実現しました。

異文化理解教育プログラム(オンライン)

教員の監修のもと、本学学生のチームが開発した小学生のための異文化理解教育プログラムです。グローバル化が進む社会では、英語力に先駆けて異文化を理解する心を身につけることが必要です。本プログラムは、オンラインでのグループワークを通して楽しく学べる構成となっており、身近な場面を動画で見ながら、文化圏の異なる人々と共に暮らす社会で気を付けたいことをひとつひとつ学んでいきます。



対象 県内外の小学生
開催実績 3回、延88名



篠木 春菜
国際教養学部
グローバル・スタディーズ課程／学部生

日本にいても日常生活で見かけることが多くなった外国人。彼らと接する上で英語以上に大切な異文化理解の心を、動画を見ながら一緒に考えるプログラムです。オンライン上で日本中の小学生や大学生スタッフと話し合える楽しい機会を作っています。

International Exchange

国際交流

200の海外の提携大学などから約200人の留学生が学んでいる本学キャンパスは、『世界の縮図』ともいえる多文化共生空間を形成しています。本学の多様な人材が地域の方々と交流し、地域の国際化推進に貢献しています。



オンライン交流について

国際教養大学では、これまで年間200件を超える交流活動を行ってきましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対面による交流活動を自粛し、オンラインを活用した交流プログラムを新たに実施しました。オンライン交流では、交流先のネットワーク環境・ICT設備等の条件に合わせてアレンジした交流内容を提供しています。

オンライン交流プログラム

●オンライン・大学説明&キャンパスツアー

国際教養大学の概要を説明した後キャンパスの紹介動画をご覧いただきながら、学内各所について学生による解説を行います。

●留学生・日本人学生とのオンライン交流

日本各地/世界各地に居住する学生とオンラインでの交流活動を行います。

交流活動の一例として、学生のお国(日本国内外問わず)に関する紹介(地理、文化等)や簡単なクイズを行ったり、進学先として国際教養大学を選んだ経緯、秋田の印象、留学に関しての体験談発表と質疑応答など、交流の目的、参加学生により日本語/英語を交えた対応が可能です。

●オンライン日本語クラスへの参加

本学のオンライン日本語クラスで学ぶ留学生の学習成果発表会等をご覧いただき、生徒さんに感想や質問等を日本語または英語でいただくという形で、世界中の留学生と交流します。

●オンラインAIU Science LAB (サイエンス・ラボ)

本学の化学実験室と交流先をオンラインで接続し、教員・学生と基本的な英語で会話しながら楽しく理科実験に参加いただけます。実験終了後に質疑応答の時間を設け、理科実験以外の質問にも英語で挑戦していただけます。

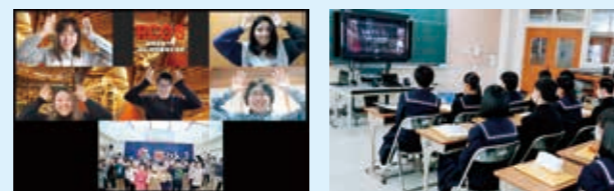
2021年度は感染拡大防止対策を徹底した上で対面による交流活動を再開しています。

2020年度オンライン交流実績

		開催回数	延参加者数	延参加学生数	
				留学生	内留学生
秋田県内	高等学校	4	163	19	0
	中学校	4	309	22	4
	小学校	0	0	0	0
	幼稚園/保育園	2	58	11	1
	その他	4	8	24	0
県外		5	455	32	1
合計		19	993	108	6



学生との交流活動に関する情報・お申込



AIU Science LAB(英語で理科実験)

本学の実験室と地域の学校をオンラインで結び、本学教員と英語でコミュニケーションをとりながら、液体・気体・ドライアイスの実験を通じて交流を行いました。



大館国際情報学院高等学校(大館市)



アンディ・クロフツ(Andy CROFTS)
グローバル・コネクティビティ領域長/教授

AIU Science LAB は当初対面交流として始まりましたが、オンライン授業での経験や、学生のサポートによりオンライン形式での提供が可能となりました。参加者の皆さんには、英語と液体窒素を使用した実験を通して、私たちを取り巻く科学の概念を体験していただけます。

日本語教育との連携

本学留学生がオンラインで学ぶ日本語クラスに、地域の中学生を招き日本語と英語を使って交流を行うことにより、地域交流に加えお互いに学んだ日本語・英語を実践する場を得るといった相乗効果が生まれています。



横手清陵学院中学校(横手市)



平田 友香
日本語プログラム/非常勤講師

留学生が自国の習慣、食べ物、言葉などについて4択のクイズを作りました。日本語のレベルが初中級でも、オンラインで中学生が楽しんでくれている様子を見て、大きな自信につながったようです。



■入会のお願い

国際教養大学は、世界中から集まった優秀な教授陣がすべての授業を英語で提供し、徹底した少人数教育を行うなど、従来の大学にはない特徴を備えた大学です。21世紀の大学教育を変えるバイオニオ的役割を担った国際教養大学の挑戦は、秋田県はもとより、日本全体でも画期的な取組であります。『国際教養大学サポーターズクラブ』は、この大学が着実に発展するよう物心両面から応援するとともに、大学と会員との交流・連携の促進などを目的としております。何卒、趣旨にご賛同賜り、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

国際教養大学サポーターズクラブ
会長 三浦 廣巳

■年会費

個人 1口 3,000円、法人 一口 10,000円

入会を希望される方は、以下のQRコードを使用し表示されるフォームに入力いただくか、事務局へご連絡ください。

国際教養大学内サポーターズクラブ事務局
電話：018-886-5904
FAX：018-886-5910
Email: aiu-supporters-club@gl.aiu.ac.jp



Community Outreach

地域連携

本学と地域の関係機関・団体との連携や、様々な学習機会の提供により、地域活性化に向けた多様な活動を展開しています。



アジア地域研究連携機構 (Institute for Asian Studies and Regional Collaboration)

アジア地域研究連携機構 (IASRC) は、国際教養大学の特性を活かしながら、①アジア地域研究の深化、②学術的連携の推進、③地域貢献・政策提言の発信を行っています。



県内企業課題解決型インターンシップ



授業がオンライン化したことを好機とし、2020年9月から、大学の授業に参加しながらも県内企業で住み込みのインターンシップを行う新プログラムを開始しました。企業が抱える課題の解決に向けて取り組むミッション遂行型インターンシップ・プログラムとなっています。

実績 延10社、学生18名

主な実施先 株式会社 安藤醸造
株式会社 わらび座
株式会社 田沢モーターズ



豊田 哲也
アジア地域研究連携機構長 / 教授

逆境にめげずに新たな可能性を切り拓く教養大生の活躍にご期待ください。

秋田ふるさと村民俗芸能アーカイブス活用事業

外国人観光客のニーズに応えられるよう、本学が研究成果として公開している秋田民俗芸能アーカイブスのHPを日本語だけでなく英語、中国語に多言語化した上で、秋田ふるさと村からも秋田の民俗芸能に関する情報を発信できるようシステムを整えました。



秋田ふるさと村 AKITA民俗芸能アーカイブスコーナー



豊田 哲也
アジア地域研究連携機構長 / 教授



秋田県は17の重要無形民俗文化財(国内最多)をはじめとする多様な民俗芸能の宝庫です。

JR東日本寄附講座

秋田県内の自治体と連携し、観光まちづくりと地域活性化をテーマにした寄附講座を実施しています。2020年度は、にかほ市と連携し、秋学期に「遺産観光論：持続可能な東北観光」を開講しました。



受講生の提案により作成されたYouTube動画



根岸 洋
アジア地域研究連携機構 / 連携研究員



フィールドワークを実施することが叶いませんでしたが、にかほ市民の方々の全面的なご協力を得て良い学びを得ることができました。

世界の中の秋田蘭画



「世界の中の秋田蘭画」

世界に目を向けた進取の気性を表す「秋田蘭画」の小冊子出版、国内外発表、また講演等を通して、積極的な紹介を続けています。



阿部 邦子
グローバル・コネクティビティ領域 / 准教授



小冊子「世界の中の秋田蘭画」は、日本語版・英語版のほかに中国語版を出版し、よりグローバルな活動が可能となりました。

大館市の観光施策に関するアドバイザリー



秋田犬の里(大館市)

大館市の観光施策アドバイザーとして、秋田犬に関する国際的人気の調査や、広報・宣伝活動に協力しています。



名越 健郎
アジア地域研究連携機構 / 連携研究員



©大館市

秋田犬は日本よりむしろ海外で人気があり、ロシアでは日露合作映画「ハチとパルマの物語」が話題です。「アキタ」は世界的な知名度が上がり、コロナ後のインバウンド効果が期待されます。

トヨタカローラ秋田株式会社とのカーシェアリングに関する共同実証研究



大学駐車場に配置されたトヨタ車

トヨタ自動車株式会社のカーシェアリングシステム「TOYOTA SHARE」を搭載した車両2台を本学駐車場に配備し、学生・教職員の利用統計から共同実証研究を行います。



中川 秀幸
アジア地域研究連携機構副機構長 / 准教授

カーシェアリングサービスが持続可能な17の開発目標(SDGs)「気候変動に具体的な対策を」や「住み続けられるまちづくりを」という目標の達成に寄与する効果を測定・検証する共同実証研究を行います。

持続可能な地域の実現に向けて

すべての活動の起点を「地域経済の成長」および「地域課題の解決」に置き、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

創業支援プラットフォーム「あきぎん」STARTUP Lab

起業・第二創業を目指す事業者の方を対象に「事業創造ワークショップ」や「ビジネスコンテスト」を開催するなど、起業者の発掘・育成から事業拡大までを一貫して支援する体制を構築しています。



公式Facebook



県内起業家の取組みや、各種融資制度・補助金制度など、起業・創業に関する様々な情報を配信しています。

「あきた未来塾」

今後の秋田県経済の発展に寄与する人材の育成を目的に、若手経営者・後継者を対象とした経営塾を2011年に開講し、卒業生は100名となりました。



卒業生は、国際教養大学の学生とともに県内の課題解決に取り組む「AIUデザインLAB」を開催するなど、地域経済を牽引するリーダーとして様々な取組みをしています。






秋田銀行

オンライン公開講座

2020年度はオンラインで公開講座を開催しました。
県内外に留まらず、海外からもご参加いただくなど、より幅広い地域と年代の方々にご参加いただきました。

日時 2021年3月13日(土)
参加者 76名

講座①	<p>「日本における伝統文化教育」 千葉 加恵子 (グローバル・コネクティビティ領域/准教授)</p>	
講座②	<p>「Learning from the machines - human development in the age of superhuman AIs」 (機械からの学び ~AIが人間を超える時代における人材開発) アティラ・エグリナギ (Attila EGRI-NAGY) (グローバル・コネクティビティ領域/准教授)</p>	
講座③	<p>「オンライン授業と教育のボーダレス化を考える」 豊田 哲也 (アジア地域研究連携機構長/教授)</p>	

AIUリサーチ・ウィーク(オンライン)



プレゼンテーションの様子

AIUリサーチ・ウィークは、国際教養大学の教員・学生が日ごろの研究成果を発表し、学内外のコミュニティで共有することを目的に2017年から始まったイベントです。
従来、対面で行う学内ポスタープレゼンテーションに加え、オープンキャンパスで学外の方へのプレゼンテーションを行っていましたが、2020年度はオンラインでの開催とし、ライブまたは予め録画した動画でのプレゼンテーションを学内に向けて実施し、後に各セッションの記録動画を本学Webサイトに公開しました。

開催期間 11月30日(月)~12月4日(金)
発表者 教員12名、学生4名 **学外視聴数** 201



高大連携授業「国際教養学への招待」(オンライン)





大学コンソーシアムあきた主催

県内高校生の皆さんに大学の講義を体験してもらうために企画した特別授業をオンラインにより開催しました。

参加者 延45名



◀大学コンソーシアムあきたウェブサイト

第1講	<p>「Games and Life - Mathematics Makes Things Easy」 開催日: 10月3日(土) 講師: アティラ・エグリナギ (Attila EGRI-NAGY) (グローバル・コネクティビティ領域/准教授)</p>	
第2講	<p>「Fake News: What is it, and why is it important?」 開催日: 10月10日(土) 講師: フローラン・ドメナック (Florent DOMENACH) (グローバル・コネクティビティ領域/教授)</p>	
第3講	<p>「Will the Japanese traditional culture die out?」 開催日: 10月17日(土) 講師: 千葉 加恵子 (グローバル・コネクティビティ領域/准教授)</p>	
第4講	<p>「A first step to understanding mass media」 開催日: 10月24日(土) 講師: キ・ドゥク・ヒョン (Ki Deuk HYUN) (グローバル・スタディーズ領域/准教授)</p>	

地域の日本語教育支援

本学の専門職大学院や日本語プログラムは、教員や大学院生の専門性を生かし、地域の日本語教育や日本語支援者間のネットワーク構築に貢献しています。秋田市日本語教室での授業や外国人介護人材に対する支援のほか、2020年度は秋田市や大仙市で日本語学習支援者の研修を行いました。



日本語指導サポーター養成講座 北秋田市会場



嶋 ちはる
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科
日本語教育実践領域/准教授

秋田でも在留外国人が増加しており、今後はますます地域における日本語教育が重要となります。そこで、地域の日本語支援者の養成や支援者間のネットワーク作り、ITリテラシー向上の支援を進めています。

学生による地域連携活動の紹介

学生団体「お互いになりきる?」では、「世界を広げる」というビジョンを掲げ、主に日本全国の高校生を対象とした事業を行なっています。事業の一つとして国内外の学校をオンラインで繋ぐコラボ授業の企画・運営を行っており、教育のオンライン化の重要性が叫ばれる中、2020年の11月、東京と大阪の高校を繋げ3日間に及ぶ授業の企画・運営を行いました。現在はこのコラボ授業の企画・運営に加え、各高校の「総合的な学習の時間」でのアシスタント業務等を含め多岐に渡る活動を行っています。居住地によって個人の視野や、将来の選択肢が限定されることなく、個人の価値が進学・就職実績のみで判断されず、「何を考え、何を学ぶのか」「どの道に進み、何を成し遂げるか」を自身で決めることが価値となる世界を目指し、これからも各学校と共同で新しい学びの場を創出したいと考えています。

熊谷 涼(グローバル・スタディーズ課程/学部生)



県内外の高校を繋いだコラボ授業の様子

地域と世界をつなぐ



スポーツ交流

自治体のホストタウン事業のサポートを実施し、交流人口の拡大に取り組みました。



教育交流

タイの大学生の県内企業でのインターンシップをアレンジし、マッチングを行いました。



視察団受入

国際協力機構(JICA)視察団受入や海外公的機関の県内視察のサポートを実施しました。

